

上宮寺通信

第八十八号

師走

早いもので今年も最後の月となりました。12月と聞いただけで気忙しい気分になってしまいます。ですが、12月は別名「師走」ともいわれます。

「師走」の由来として、「師」は落ち着いてせかせかと動き回らない僧侶もこの月だけは忙しく走り回るということで、「師走」となったという説が有名です。ほかにも四季の終わりや年の終わりを意味する「四極（しあつ）」や「年果つ（としあつ）」などの言葉が変化して「しあす」となり、「師走」という漢字が当てられたという説もあります。

では、本当に僧侶はこの時期は忙しいのでしょうか？

私の感覚でいえば、この時期は親鸞聖人の報恩講が別院をはじめ各寺院で勤められたり、年始の準備をしたりと、ふだんよりはやることが多いのは確かです。ですから忙しいといえば忙しいのですが…。

しかし、地域によっては本当に走り回るほど忙しさの僧侶もいます。

浄土真宗では11月頃から報恩講の時期となります。古くから報恩講は寺院で勤められるだけなく一般の家庭でも勤められてきました。それは「お仏事」とか「お取り越し」という名前で呼ばれています。いまでは「お仏事」「お取り越し」を勤められてられたという説もあります。

る家庭は非常に少なくなってきましたが、少し田舎のほうへ行くとまだまだ勤められていて、「これだけはしっかりとやろう」と心を落ち着かせることが大事です。

ですから、この時期は「お仏事」で一日に何軒も何十軒もお参りに出かけるという知り合いの僧侶もいます。それを考えると、僧侶が走り回る「師走」というのも納得できます。

しかし、年の瀬が迫ると、僧侶に限らず年始の準備を控え、あわただしくなってきます。忙しいという漢字は、心や感情を意味する「ト（りつしんべん）」に「亡くす」と書きます。忙しいとついつい大事なことを忘れてしまうのです。



行動するとかえって失敗してしまうということも。「あれもこれもやらなくては…」とならず、「これだけはしっかりとやろう」と心を落ち着かせることが大事だと思います。

マンガ「一休さん」のように「あわてない、あわてない」を心がけて、この「師走」を過ごしたいものです。

「急いでは事を仕損じる」ということわざのように、慌てて

◆行事案内

◆話題あれこれ

修正会

1月1日(元旦・木)

午後2時~

※ご参詣の皆様と『正信偈』のお
つとめをします。おつとめの後、
恒例のビンゴ大会を行います。



名古屋別院 報恩講
12月13日(土)~18日(木)

○本山の報恩講も無事に終え
ることができました。24日と
28日に首頭(主管)をさせて
もらつたのですが、とても緊
張しました。

○天候にも恵まれた11月8
日の報恩講には多くの方にお
参りをいただきありがとうございました。

○11月27日の東本願寺報恩
講団体参拝にも多くの方のご
参加をいただきありがとうございました。
今年は全体的に
参詣者が多く、団参当日も楽
僧の近くの前のほうでお参り
ができなかつたようでした
が、樂入りの法要はいかがで
したでしょうか。

○今年も最後の月になってしま
いました。なにかと気忙しいで
すが、体調に気をつけて良い年
をお迎えください。

※ご参詣の皆様と『正信偈』のお
つとめをします。おつとめの後、
恒例のビンゴ大会を行います。

○11月27日の東本願寺報恩
講団体参拝にも多くの方のご
参加をいただきありがとうございました。

○今年も最後の月になってしま
いました。なにかと気忙しいで
すが、体調に気をつけて良い年
をお迎えください。

○13日から18日まで名古屋別
院(東別院)の報恩講がつとま
ります。皆様もご都合つきまし
たら、ぜひお参りください。

【雑感】

東本願寺の報恩講が終わり、
名古屋に帰る前にせっかく京都
に来たのだからどこかへ行こう
と思い、新選組ゆかりの壬生寺
に行つきました。「誠」の字が
入った羽織や隊旗が有名で、武
術に優れてかつこいいイメージ
がある新選組ですが、京都では
傍若無人であまり評判が良くな
かつたそうです。そんなことも
あってか、壬生寺にも新選組に
関するものは思つたほどなく、
拍子抜けしてしまいました。た
だ、壬生寺近くの和菓子屋さん
で買つた「きんつば」はとても
おいしい!これはおすすめで
す。
(住職記)

○ホームページ、公式LINE

もよろしくお願ひします。

【発行】

真宗大谷派

上宮寺

昭和区白金一丁目十九番十五号

052-871-0547



ホームページ



公式LINE